

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)天理教國寶教会様共同住宅	階数	地上12F
建設地	大阪府東大阪市菱屋西一丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	254 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集会所,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2022年2月15日
敷地面積	1,912 m ²	作成者	鈴鹿 順一
建築面積	543 m ²	確認日	2022年2月16日
延床面積	5,382 m ²	確認者	岡井 知仁

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観写真を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
可能な限り室外/室内環境/省エネルギー性に配慮した設計とした	特になし	
Q1 室内環境 開口部T-2性能の確保や内装建材にF☆☆☆☆を使用し、入居者に配慮した設計とした	Q2 サービス性能 更新間隔の長い建材を使用し、建物の維持管理に配慮した設計とした	Q3 室外環境(敷地内) 防犯カメラの設置など防犯性に配慮
LR1 エネルギー ほぼ全ての住戸で外皮性能等級④を取得(住棟平均としては基準値をクリア)し、一次エネルギーに関しても全体で基準値をクリアしている	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上材のD+を採用した	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車/駐輪場を確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0113

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)天理教國寶教会様共同住宅							
	建設地	大阪府東大阪市菱屋西一丁目							
	用途/区分	集合住宅 集会所							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-					
①	CO2削減			3					
②	みどり・ヒート アイランド対策			2					
③	建物の断熱性			4					
④	エネルギー削減			4					
⑤	自然エネルギー直接利用			○					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.1	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		